



【第11号】

臨時増刊

- ◎ 発行：富士見台地区協議会
- ◎ 発行責任者：竹口 裕
- ◎ 連絡先：042-482-3012
- ◎ 発行日：令和元年11月

また、超大型台風はやってきます！ 我が町のハザードマップを確認しましょう。

富士見台地区協議会会長 竹口 裕

10月の台風19号では、多摩川ははん濫危険水位を超え、調布でも避難勧告が出され、実際に避難をされた方も自宅に留まった方も、日頃あまり意識していなかった水害の怖さを実感されたのではないかと思います。

地球温暖化の影響で、超大型の台風が発生する可能性は、これまで以上に高くなっていると報じられています。

調布市が作成した「洪水ハザードマップ」には、大雨が降って2日間の総雨量が588mmになると、多摩川からの浸水が予想される地域が示されています。富士見台小学校の学区域でも、多摩川4丁目、5丁目全域や小島町・下石原など広い地域で、浸水が想定されています。京王多摩川駅の周辺では、3m～5m未満(2階の軒下まで浸水する程度)の浸水が予想されています。自宅の2階に逃げただけでは、水が襲いかかってきます。



自分の住まいはどのような地域か、「洪水ハザードマップ」で確認しましょう。「洪水ハザードマップ」は市役所などで配布されています。

(調布市の「洪水ハザードマップ」の富士見台地区部分を裏面に掲載します。)

自分の住まいの洪水の危険性を確認し、いざという時にどうするか家族で相談しましょう。そして、いざという時の逃げ道、逃げ場所を歩いて確認しましょう。

高齢者、幼いお子さん、障害のある方のいる家庭では、早めの避難が肝心です。大雨が予報されたら、避難勧告や指示の出る前に、調布駅や市役所方面の親戚や友人知人のお宅、あるいは市の設置する避難所などへ避難しましょう。

今回の経験を生かして、富士見台地区協議会では、早め早めの避難所の開設や避難所の円滑な運営などについて、市役所と協議していきます。

新たな対策ができれば、直ぐに皆さんにお知らせします。

調布市洪水ハザードマップ(部分)



多摩川浸水想定区域(想定最大規模)[※]・浸水ランクの目安

Tamagawa Inundation Assumption Area (Maximum expected scale) / Color Chart of Inundation Depth



- 10.0~20.0m未満の区域 (10.0m~less than 20.0m) → 避難方向(多摩川浸水想定のみ) evacuation direction
- 5.0~10.0m未満の区域 (2階が水没する程度) 5.0m~less than 10.0m
- 3.0~5.0m未満の区域 (2階の軒下まで浸水する程度) 3.0m~less than 5.0m
- 0.5~3.0m未満の区域 (2階の床下まで浸水する程度) 0.5m~less than 3m
- 0.5m未満の区域 (1階の床まで浸水する程度) Less than 0.5m

※3 現時点での河道の整備状況を勘案して、多摩川流域の48時間総雨量588mm(想定最大規模降雨)に伴う洪水により多摩川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。



避難所

上の図は、「調布市洪水ハザードマップ」から富士見台地区の含まれる部分を抜き出して、少し拡大して表示していますので、画質がやや劣っています。ご理解ください。